

第11回 グリーン購入大賞 応募用紙

記入日： 21 年 7月 16日

応募区分	募集テーマ				
	応募区分	テーマ1	テーマ2	テーマ3	テーマ4
		企業や行政のグリーン購入の推進	製品の開発とコミュニケーションの推進	グリーンコンシューマーの育成	食に関するグリーン購入の取組み推進
	大手企業	1	2	3	4
	中小企業	5	6	7	8
	行政	9	10	11	12
民間団体・学校	13	14	15	16	
プロジェクト	17	18	19	20	
※応募区分「ひとつだけに○」を付けてください。※複数の区分へ応募する場合は、それぞれ作成下さい。					
応募者のプロフィール	団体名	(フリガナ) エヌジーピー ニホンジドウシャリサイクルジギョウ キョウドウクミアイ NGP 日本自動車リサイクル事業協同組合			
	※プロジェクトでの応募の場合は、こちらにプロジェクトに参加している主な団体名をご記入下さい。				
	応募担当者連絡先	所在地：〒			
		部署名：	役職名：		
		氏名（フリガナ）：			
		電話番号：	FAX番号：		
		メールアドレス：			
	ホームページ	http://www.ngp.gr.jp			
	資本金（企業のみ）				
	従業員・職員数				
事業内容（※行政の場合は、記入は不要です）： ・組合員の取り扱う自動車リサイクル部品在庫共有システムの開発・運用 ・同 自動車リサイクル関連機器、資材及び消耗品の共同購入 ・同 自動車リサイクル部品の市場開発					
グリーン購入の取組み状況	※応募団体及びプロジェクトとしてのグリーン購入の取組み状況を簡単にお書き下さい。 ・全組合員に対し、事務用品や事業機器などグリーン購入指定品目を紹介・斡旋。 ・指定品目である補修用「自動車リサイクル部品」の事業実績は、 生産点数、177万3千点/08年 販売点数、191万9千点/08年 となっています。 08年度1年間のNGPにおける自動車リサイクル部品出荷によるCO2削減効果値は 8万4206トンになりました。 *CO2削減値は早稲田大学環境総合研究センターの算出データに基づく				

応募内容について (A4版2枚以内で記述して下さい。)

1. 応募する活動の名称・タイトル

中身も箱も Eco 主義！！

自動車中古部品はエコ商品！ 物流もエコにしたい！ 梱包資材(段ボール箱)を使い捨てからリターナブルへ！

2. 活動の概要

NGP は、使用済み自動車(廃車)を適法・適正に解体処理し、その工程の中から有用なパーツを自動車リサイクル部品として商品化を行い、主に自動車修理事業者に供給しています。

従来、注文商品は段ボール箱で梱包し、お客様(修理業者)へ宅配便を使いワンウェイで配送していましたが、グリーン購入指定品目である「自動車中古部品」の輸送で新品段ボールが使用されている不合理と配達先での段ボール廃棄のムダを低減させたいと考え開発しました。

まずは、自動車リサイクル部品で一番需要が多い「ドア」用梱包材を開発し、09年3月より、NGP が運用を開始し取り組んでいます。

発送時に、リターナブル梱包材で梱包し、回収はコンパクト(宅配便サイズ)に折畳んで、商品到着3日後自動的に日通が空き箱を回収(日通 cifore21 システム)する仕組みであります。

この梱包材は、従来型の使い捨てのダンボールと異なり繰り返し使用が可能であると共に、利用回数が多くなればなるほど「廃棄物の削減によるCO2排出削減」に大きな効果を発揮することとなり、「梱包材もエコ」で本来の取り組み成果に加えて地球環境保全に大きく貢献できるものと確信しています。

そして、この取り組みを業界標準まで高めていくためには、整備事業者の理解と協力(配達後、箱を折り畳み保管→宅配引渡)が不可欠です。

最近では、国土交通省が推奨する「環境にやさしい整備工場」を目指す環境意識の高い整備事業者が出現する中、私たち自動車中古部品供給業者のこの取り組みを広く、深く訴求していかなければならないと思います。

NGPは、この地球がいつまでも美しいブルーであり続けることを願って、この「エコな梱包材」を青色としました。

3. 活動による成果・効果(できるだけ具体的・定量的な内容をご記入下さい。)

※特に「グリーン購入活動による地球温暖化防止の取組」については高く評価します。

◆リターナブル梱包材」を使用した場合のCO2排出削減のエコ効果

【素材のLCA比較】

段ボール：7792g CO2・・・1回使い捨て

PP製リターナブル材：15400g CO2・・・≒200回使用で 77g CO2

【輸送時の負荷】

段ボール：1146g CO2(往路)

リターナブル：1568g CO2(往路) + 664g CO2(復路) = 2232g CO2

よって、段ボール使用1回当たり 8938g CO2 : リターナブル材使用1回当たり2309g CO2 と
なり、74%のCO2削減となる。(別紙資料参照)

その他

◇廃棄物(ゴミ)の削減

◇梱包作業の簡素化(時間短縮)

◇運送事故(ドアのふち折れ)の防止

◆商品(自動車リサイクル部品)のCO2削減のエコ効果

自動車リサイクル部品は、新品部品を使って修理するよりCO2排出削減効果があります。

商品の効果は、今回の取組みと関係しませんが、08年度1年間のNGPにおける自動車リサイクル部品のCO2削減値は8万4206トンであり、所属する「グリーンポイントクラブ」全体(16万172トン)のおよそ52%強を占める削減効果に貢献しています。*CO2削減値は早稲田大学環境総合研究センターの算出データに基づく

4. 活動に関して、①先進性・独自性、②継続性・発展性についてご記入下さい。(各200字程度)

①先進性・独自性

自動車中古部品の流通が始まって以来、高額な新品段ボールの扱いに苦慮していましたが、発想はあっても具体的取組に至っていませんでした。タイトルの通り、自動車リサイクル業界初の取組みとして廃棄物・CO2及び資材コストの削減をより高いレベルで求めたものです。現況は日本通運・日通商事と共同開発した「リターナブル梱包材」をNGPが独自に先行取組し推進していますが、同業のリサイクル他団体の関心は大変に高く注目されているところです。

②継続性・発展性

既に、他の産業界では新しい梱包材を開発・改良し取り組んでいます。当業界では永年、梱包材はダンボール・木製パレット・緩衝材使用が根強く定着しているため、当面は利用頻度と利便性の高い「ドア用リターナブル箱」を繰り返し使用することで業界における認知度を高めていきます。また、取組みを定着させる実践と各種イベントの機会などで積極的に啓蒙活動を行います。

また同業他団体にも資材・ノウハウを積極的に提供し「変革」を訴求し、業界のスタンダードな取組みとして定着していくことを目標としています。

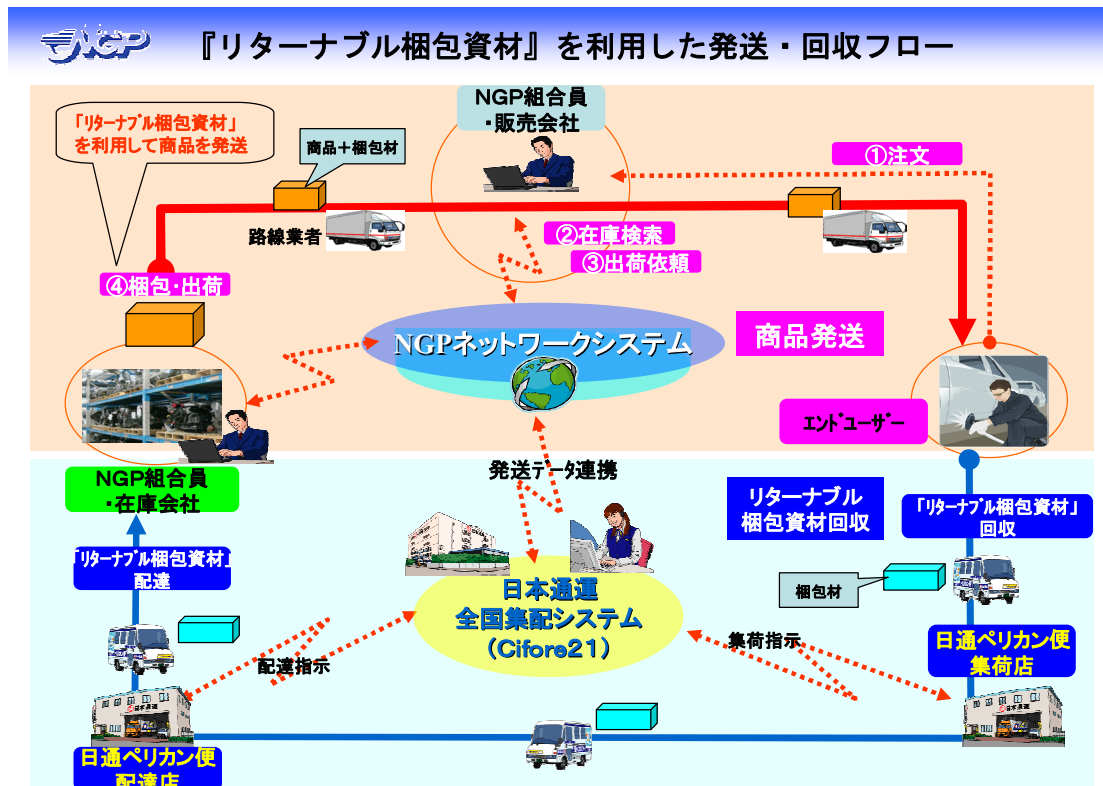
業界標準への発展性としては、ドア用の梱包材以上に困窮度が高いバンパーやエンジン用など目下開発中であり、その実用化により一層の進展が期待できます。

「梱包材もエコ」がスタンダードになるまで定着すれば、他の利用頻度やニーズの高い部品専用梱包材の開発は容易なこととなり、結果としてコスト低下や素材の品質改良等も格段に進歩することも期待できることとなります。

5. 添付資料について(添付資料がある場合、その内容をお書き下さい)



リターナブル運用フロー図



09年4月より日通ベリカン便はJP エクスプレスに移行しています